

<学部用>

授業科目 統計学(新カリ)

【担当教員名】 遠藤 和男 各学科助手	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・健康
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

<概要> 保健・医療分野において用いられている独特の用語や定義を理解し、卒業研究や卒業現場でも応用できる統計学の方法を学習す旧カリの「医療統計学」及び「同演習」を合わせた内容となっており、奇数回目は講義、偶数回目は演習を主体とする。最終的には医療のでも重視されている、EBM(Evidence-based Medicine)の基礎についての修得を目指す。

<一般目標：G I O>

証拠に基づいた医療であるEBM(Evidence-based Medicine)を用いたチーム医療に参加するために、保健・医療分野で用いられる統計学的手法を理解し、正しい方法を適用できる。

<行動目標：S B O>

1. 証拠に基づいた医療であるEBMの重要性を説明できる。
2. 疫学研究で用いられる指標を列挙できる。
3. コンピュータ学習(CAD)に積極的に参加する。
4. 正しい統計学的な検定方法を選択できる
5. 適用した検定結果について正しく判断できる。
6. 常に証拠に基づいて議論する習慣を身につける。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題
1	疫学研究の型と指標	疫学調査で用いる各種統計指標を学び、統計学的に評価してみる。	1,2 講義
2	食中毒の原因究明	後ろ向き研究としてオッズ比の計算方法を演習する。	2-6 演習(助手が応援)
3	保健衛生の指標	人口動態統計その他の指標	2 講義
4	粗率と訂正率	人口構成その他の違いによる率の調整方法を学び、SMRを計算する。	2-6 演習(助手が応援)
5	敏感度と特異度	臨床検査学で応用されているスクリーニングの概念を学ぶ。	2 講義
6	スクリーニングレベル	レベルを動かした時の敏感度、特異度の変化、PVPについて演習する。	2-6 演習(助手が応援)
7	記述疫学とアンケート	記述疫学の方法やアンケート調査の実際について学ぶ。	2 講義
8	アンケート調査まとめ	アンケート調査の集計結果について傾向性の検定などを適用する。	2-6 演習(助手が応援)
9	仮説検定と有意水準	検定と推定の基礎について学ぶ。特に検定の手順と仮説について学ぶ。	2 講義
10	平均値の比較のまとめ	卒業研究時に最も多用される2群の平均値の差の比較について演習する。	2-6 演習(助手が応援)
11	地域関連研究	地域関連研究の考え方や生態学的偽相関について学ぶ。	2 講義
12	検査線と地域相関	検査線を描くとともに、地域関連研究の例について演習する。	2-6 演習(助手が応援)
13	生命表法とその応用	生命表法の考え方、臨床現場における応用について学ぶ。	1,2 講義
14	生命表と生存分析	Kaplan-Meier法について各自のデータをCADによって演習する。	2-6 演習(助手が応援)

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	医統計テキスト	遠藤和男、山本正治	西村書店	1997第3刷、¥2500+税
参考書				
その他の資料	奇数回はレジュメを配布する予定である。専門用語を穴埋めしていくとサブ・ノートが出来上がることになり、それを偶数回目のサブ・テキストとして使用する。もちろん偶数回目の演習用のプリントは別途配布する。			

【評価方法】	【履修上の留意点】
1. 演習終了時に小レポートを提出してもらう。 2. レポートのみでは理解度が不明なので、試験期間中に小テストを実施する。	健康スポーツ学科及び社会福祉学科では内容が異なるし、履修できない。

1. 全科共通科目 (医療福祉基礎科目群)